



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

報道関係各位

「第71回さっぽろ夏祭り～北海盆踊り～」にて 水平リサイクル「ボトル to ボトル」ブースを出展

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄正太）は、「第71回さっぽろ夏祭り～北海盆踊り～」にて2024年8月11日（日）～16日（金）の6日間にわたって水平リサイクル「ボトルtoボトル」ブースを出展いたします。

【ブース出展概要】

- 会場：札幌大通公園2丁目 特設会場
出展日程：2024年8月11日（日）～16日（金）【6日間】16：00～
出展内容：ボトループファクトリー、素材に実際に触って学べるコーナー
参加条件：飲み終わったPETボトルをご持参ください。

- ※12歳以下の方は保護者の方と一緒での参加が必須になります。
- ※ご持参いただくPETボトルはできる限りすいできれいな状態でお持ちください。
- ※コカ・コーラの配布は期間中、お一人様1回限りのご参加とさせていただきます。
- ※参加人数が上限に達した場合、時間内でも早期にイベントを終了する場合があります。



当社を含む日本のコカ・コーラシステムでは、グローバルビジョン「廃棄物ゼロ社会（World Without Waste）」のもと「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる活動に取り組み、容器由来の廃棄物削減と、日本国内のプラスチック資源の循環利用を推進しています。

出展ブースでは、飲み終わったPETボトルをご持参いただくと、「ボトルtoボトル」を楽しく学べるオリジナルゲーム「ボトループファクトリー」をご体験いただけます。ゲームを体験いただいた方には、100%リサイクルPETボトルのコカ・コーラ500mlPETボトルとオリジナルシールをプレゼントいたします。また、リサイクル工程のリアルな素材に実際に触って楽しく学べるコーナーもございます。

来場者にペットボトルが新たなペットボトルに生まれ変わる「ボトルtoボトル」水平リサイクルに関心を持っていただく機会とするとともに、PETボトルの分別の大切さや資源回収の重要性について楽しく学んでいただき、これまで以上に家庭でもきれいな分別を行うきっかけにさせていただきたいと考えています。



〈出展ブースイメージ〉

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部
担当：平賀 TEL：011-888-2091



はずす はがす かえす
つぎのボトルへリサイクル!

〈参考資料〉

■ コカ・コーラシステムの取り組み

● 容器の2030年ビジョン

日本のコカ・コーラシステムでは、2018年に発表した「容器の2030年ビジョン」に基づき、2030年までに国内のペットボトルを100%サステナブル素材※へ切り替えることなどを目指しています。2021年5月には「コカ・コーラ」「いろはす」などの旗艦製品へ100%リサイクルPETボトルを導入。また、2020年より販売しているラベルレス製品も10ブランド22製品へと拡充、容器1本あたりのPET素材使用量の削減（軽量化）にも継続的に取り組んでいます。

※「ボトルtoボトル」によるリサイクルPET素材、または植物由来PET素材



■ 当社の水平リサイクル推進の取り組み

● 上士幌町、岩見沢市と「ペットボトル資源循環型リサイクルに関する事業連携協定」

当社と上士幌町、岩見沢市は、生活者・事業者・行政の三者が一体となって、道内におけるPETボトルの循環利用への貢献を深めるため、2023年9月に上士幌町、2024年3月に岩見沢市と「ペットボトル資源循環型リサイクルに関する事業連携協定」を締結しました。市町が回収する使用済みPETボトルを、粉碎・洗浄などの各工程を経て再原料化し、それらを当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の新たなPETボトルに再生します。



上士幌町



岩見沢市

● 公益財団法人アイヌ民族文化財団と「ペットボトル資源循環の協働事業」

公益財団法人アイヌ民族文化財団が管理・運営する「ウポポイ（民族共生象徴空間）」がアイヌ文化の復興・発展及び国民理解促進の拠点であり、国内外から多くの方々が集まることが期待されていることから、来場する多様な世代に対してリサイクルに対する意識を高めるとともに、「ボトルtoボトル」の促進に向けた事業として2020年9月より取り組んでいます。

同施設に、空容器回収ボックス「リバースベンディングマシン」を設置し、「ボトルtoボトル」のリサイクルを行うほか、回収した空容器1本につき1円がアイヌ民族文化財団へ寄附され、アイヌ文化の振興に役立てられています。



● 北海道オリジナルキャッチコピーを導入

プラスチック循環型社会の実現に向けた啓発活動の一環として、北海道独自で「はずす はがす かえす」のキャッチフレーズを導入しています。

これは、生活者のリサイクルに対する「認知」から「行動」へのステップアップを意識してデザインされており、広告物やPOP、リサイクルボックス等に使用し、生活者の皆さまへのコミュニケーションを強化していきます。



はずす はがす かえす
つぎのボトルへリサイクル!